

2011年05月17日 中国山地 駒ノ尾山 同行者1名(Yさん)

標高: 駒ノ尾山 1280.7m

コース距離: 8.4km 所要時間: 3時間27分(休憩含む) コース高低差: 331m

コースタイム

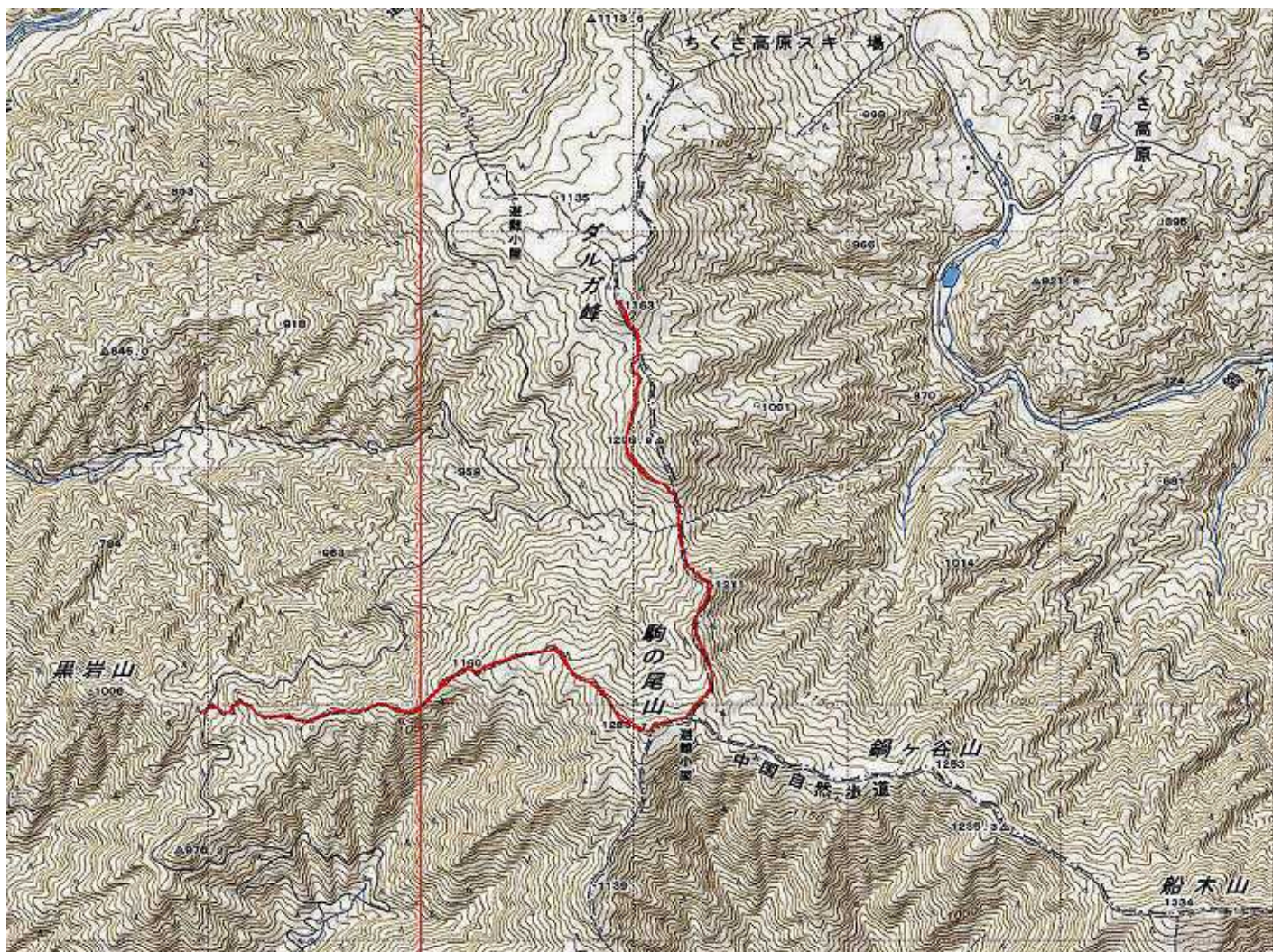
ダルガ峰林道登山口 8:52 9:12 休憩舎 9:20 展望台 9:43 駒ノ尾山 9:51 10:32 ダルガ峰
ダルガ峰 10:36 11:17 駒ノ尾山 11:40 12:18 登山口

* 行程グラフ

場所の名称	時刻	標高	標高校正
登山口	8:52	958.1	950
休憩舎	9:12	1096	1092
展望台	9:20	1148.9	1150
駒ノ尾山	9:43	1281.1	1280.7
	9:51		
ダルガ峰	10:32	1166.2	1163
	10:36		
駒ノ尾山	11:17	1282.1	1280.7
	11:40		
登山口	12:18	965.3	950



* 山行軌跡



*アプローチ

自宅を5時40分に発ち、長岡のYさんを迎えに行き、6時に山崎ICより高速に乗り鳥取自動車道の大原ICで一般道の373号線を進みあわくらんど道の駅から脇道に入りダルガ峰林道へ、駒ノ尾山登山口に8時35分に到着する。

*山行記

林道登山口に到着して軽く食事をして登山準備をしていると車が一台(女性二人)到着する。

鳥取から迷いながら到着出来たとの事、林道大海里線が工事で通行止めになっている事を知らなくて来たため大回りして来た様子である。

林道のお知らせ地図を見せて説明しあげる。

ダルガ峰林道の展望所より(那岐山方面)



駒ノ尾山登山口



私と同行者Yさんは8時52分に一足先に出立する、綺麗に整備された登山道を歩く。20分ほど歩くと早くも休憩舎がある展望も出来る、ここから10分もしない内に展望台もある。

休憩舎



展望台より休憩舎を見下ろす



登山道は急な傾斜はなくゆっくりと歩けば順調に登って行くことが出来る、9時43分に駒ノ尾山頂に到着する。

山頂は広く中央に大きな石碑が建っていて回りに大きな石が並べて置かれている。



20分ほど休憩してダルガ峰へ向かう、すぐに立派な避難小屋が現れる小屋を過ぎると分岐があり右側が後山へ向かう登山道で左の登山道に行く。

ダルガ峰(なる)方面

後山方面



地図では1121mまで下ってから1206.8mまで登る様に表示されているが実際は1121mまで下ってからは1206.8m地点を巻いて歩けるように道が付いている、進行先から団体のグループとすれ違う山中で人と会うのは今日は初めてである。

大きなアップダウンはないので楽にダルガ峰に10時32分に到着する、周りはブナ系の灌木の中で展望は出来ない。

ダルガ峰
(ダルガなる)



水分補給して早々に引き返す、天気予報は午後から雨となっている引き返して少しすると雷の雷鳴が聞こえてくる。

11時17分に駒ノ尾山に戻る、まだ雨は降り出していないので山頂で食事休憩をする。



山頂で一人の登山者が居られた、話をしながら冬の積雪時の山頂の写真を見せてもらった、石碑の先端が少し見える程度までの積雪がある。姫路方面の方らしいがこの方面の山によく来るそうである。

11時40分下山を開始する、登山口の近くから雨が降り出してくる。本降りになる前に駐車場に12時18分に帰着く。

駐車場横の休憩所でお茶を点てながら休憩する、朝に出会った方とは山中では会っていないが車は停めて残っている。

ダルガ峰林道の登山口駐車場



あわくら温泉黄金泉に汗を流しに立寄り、1時間ほど居て温泉を出てくると朝に出会った人が車から出てきて挨拶を交わす、舟木山(後山方面)に行ってきたとの事で山中で雨に合いずぶ濡れになったと溢していた。

帰り時間が早かったので高速の宝塚付近が込まないうちに抜けられたので17時に帰宅できた。